

燃 の予防を

ロボロになるのは、赤ち

昔は産後に口の中がボ

マイナス1歳」から

場から語り、「大阪保険医新聞」2月5日、15日 各号に掲載された内容を紹介します。 に取り組む思いについて医科・歯科それぞれの立 ・妊産婦医療費助成制度」の創設を求める運動



歯科保険医協会 玉川 尚美 氏

党診がなぜ重要なのでし 妊産婦にとって歯科 ンスの変化によって体調 が変化し、従来行ってい 妊娠中はホルモンバラ

は産婦医療費助成は若者への工

うことが難しくなりま も、口腔ケアに注意を払 あります。また、出産後 によってできないことが た口腔ケアがつわりなど

です。 ため、妊産婦においては うちに悪化し、ある日突 の状態が知らず知らずの きてびっくりされるとい 然、歯磨き中に出血が起 定期的な歯科受診が重要 ったケースは少なくない そうした中で、口腔内

だけでなく、歯周病にも また、妊娠中はむし歯 べることが難しければ、

る恐れがあります。 早産や低体重児出産にな 注意が必要です。妊娠中 に歯周病が悪化すると、

とが原因です。

妊娠中でも躊躇せず受診を 期段階での治療の重要性

りません。 まう患者さんも少なくあ る不安も大きくなるた とや、麻酔など薬に関す なってチェアに寝そべっ め、受診をためらってし ての受診が難しくなるこ 妊娠中はお腹が大きく 座ったまま治療をするこ

しかし、チェアに寝そ

い状況が続いてしまうこ まい、知らないうちにむ が、つわりなどにより口 らだと言われていました ゃんに栄養を取られたか し歯や歯周病が進みやす 腔ケアが疎かになってし います。

受診し口腔ケアに関する

歯並び・むし歯予防 妊娠期から始まる子どもの

への影響を教えてくださ 生まれてくる子ども

し歯の数は減少していま

昔に比べて子どものむ

がいるときから子どもの

不正咬合予防は始まって

われたこと

合の誘因になることがわ

くなり、口呼吸や不正咬

かってきています。その

ため、「お腹に赤ちゃん

れることや

す。しかし、ネグレクト

います」とお母さんに伝

とが可能です。 がひどくなった場合で をみてできる処置を選択 も、痛みを和らげ、時期 ともできますし、むし歯 しながら治療していくこ 初期の段階で治療し、

要であるため、患者さん 重症化させないことが重

す。そのうえで、普段で 伝いができればと思って り、ブラッシングのお手 きるケアの仕方を教えた ただくことを訴えていま には安心して受診してい

また、妊娠中に歯科を

磨きを通してお口の状態 っていて、お母さんや先 い」という話をよくしま に関心を持ってもらいた を把握し、お互いにお口 生方に「毎日子どもの歯 私は保育所で園医をや

咬合の予防は、妊娠期の

うか。そのため、トータ

少ないのではないでしょ 科でもご存知の方はまだ なく、行政や産科、小児 っている歯科医師も多く

ましてや

子どものむし歯や不正

導もしてきました。 きければブラッシング指

どもを連れて定期的に歯 腔への意識が高まれば子 後の子どもの口腔ケアに 科を受診するという習慣 になる方が多いです。口 対しても注意を払うよう 意識が高まった方は、 の首を保持できていない 乳や抱っこの時に子ども 反ってしまうことや、授 ことで、口元が緩みやす まっています。お母さん て胎児の首が丸まらずに

にもつながります。

す。

り、ある程度子どもが大

生方と対応を検討した

見受けられ、その時は先 のような子どももたまに

なと思っています。 わる機会が増えればいい

しかし、このことを知

います。しかし特に近年 する支援事業を制定して では、出産前から支援が 要となっている家庭に対 環として、養育支援が必 必要と行政に認定される 特定妊婦」の数が、全 国は児童虐待対策の一

年ほど前に第1子を出産

されていると思います。 健診の制度は大幅に拡充

しかし、制度が改善し

る覚悟を持つことは困難 どもを産み、そして育て

産婦医療費助成制度」

動に取り組んでいる「妊 医協会が創設に向けて運

不安な状況の中では、子 感じています。経済的に

大阪府保険医協会

理事

背景にある「貧困」

子どもを取り巻く問題の

ただし、そういった不

て有効だと考えます。

は8年連続で、全国でワ

が、どのようにお考えで まり状況になっています ースト1位と深刻な高止

ては、大阪の児童虐待数

子育ての問題に関し

知加子氏

私は、今からおよそ30

)ました。 その当時は妊

刻な状況です。こうした となるなど、少子化は深 生数は過去最少の81万人

-2021年の国内出

制度

(創設は行政の姿勢を示す有効な手段

たにもかかわらず、日本

状況についてどのように お考えでしょうか。

> ると、地域差もあるとは のでした。その頃に比べ

かなく、大変不十分なも 前期・後期で1枚ずつし 婦健診のチケットが妊娠

す。その要因の一つに、

「経済的理由」があると

と考えています。

その意味で、現在保険

べて格段に進んでいま での少子化は30年前に比

出産・育児への心理的な ポートが充実するほど、 安については、公的なサ

ハードルは低くなるもの

思いますが、現在の妊婦

ついても、全国でワース だけでなく「子どもの貧 困の問題と児童虐待と 受けている子どもの数に な状況です。生活保護を 困」についても大変深刻 と考えています。 しょうか。 大阪府は、児童虐待数 1位です。 こうした貧 切り離せない問題だ せん。

国で年間8000人以上 支援が必要とされる事

必要な方も少なくありま アルコール・薬物依存等 の精神疾患で医療ケアが 因の一つであり、さらに が、「貧困」は大きな原

低いのですが、早産・死 見過ごせません。新生児 期死亡率が、全国平均よ 産の確率が高くなってい り高くなっていることも 死亡率は全国平均より また、大阪府下の周産

情については様々です いるはずですが、なぜ周 ます。早産・死産が多い 婦」やそれに近い環境の は、この要因に「特定好 いるのでしょうか。私 産期死亡率が高くなって れば医療環境は充実して 大阪府は他府県に比べ

ています。十分とは言え ようにお考えでしょう 度の意義についてはどの 時金を引き上げようとし 現在国は、出産育児 妊産婦医療費助成制

だけ不安定な状況にある 者たちの生活基盤がどれ 因として「晩婚化」があ 勢と捉えたいです。 が、そうならざるを得な ると言う政治家もいます 日本が少子化になる原

> ば、出産・育児に前向き 政の姿勢」を実感できれ いメッセージです。「行 切り口であり、届きやす

になれる方も多いのでは

拠」であり、行政の支援 が行き届いていない証 ことは「妊婦さんの管理 返しではないでしょう が届いていないことの裏

画」では、

して制度の創設を 大阪府子ども総合計画の一 環と

を入れようとしている姿 ませんが、国が支援に力 きです。 う、とても分かりやすい かを国は正しく認識すべ るものと考えます。行政 世代への「エール」にな て政策を行っているとい が若者たちに関心を持っ 助成制度は、そういった そして、妊産婦医療費

後期計画

しかし、

の3項目だけでし

創設していただきたいで

た「大阪府子ども総合計 2015年に策定され

「マイナス1歳」から始 ていく医療体制や社会をています。 ルで妊産婦をサポートし つくる必要があると考え

ために助成制度が必要 負担の大きい妊産婦を支える

妊産婦医療費助成制

りやすいので、医療に安

的にも非常に不安定にな 庭も多いと思います。 加、今は物価高騰などで 労働者や母子家庭の増 なく、金銭面でも負担が をお聞かせください。 から治療をやめる」と言 といけないのか」と聞か 度の創設についてご意見 経済的に苦しいという家 大きくなります。低賃金 際、「あと何回通わない 妊娠中は体調面だけで 実際に治療をしている - 妊産婦は精神 しがあります。 、「費用が高い 心してかかれる環境が必 日号から転載) ざいました。 だと思います。 医療費助成というサポー かかれるように、妊産婦 なげることができます。 子どもへの口腔ケアにつ すくなり、妊娠中の口腔 ば、足を運んでもらいや 要です。 ケアだけでなく、産後や トが妊産婦にとって必要 (大阪保険医新聞2月15 もし無料で受診できれ お金の不安なく医療に 本日はありがとうご

娠・出産できる仕組みの 助成事業の実 文援」「特定不 「周産期医療体 して府が取り組 「ハイリスク 「安心して妊 産婦医療費助成制度」を 業計画の一環として「妊 れています。 援」の取り組みが加えら わたる切れ目のない支 「妊娠期から子育て期に ぜひ、大阪府はこの事

むものは

充実」とし

制の整備」

妊婦への支 妊治療費

では、新たに 2020年の 日号から転載) (大阪保険医新聞2月5

